

『教育哲学研究』 査読プロセスの概要

1. 投稿論文の提出締め切りは、以下の通りです。
 - ・奇数号：刊行前年の11月上旬
 - ・偶数号：刊行年の5月上旬
2. 編集委員会は、投稿された論文の分量その他の形式を確認し、問題がなければ受理の連絡を行います。一度投稿された論文は、締め切り日より前であっても差し替えることはできません。なお、投稿以降、審査を辞退しなければならない事由が発生した場合は編集委員会事務局にご相談ください。
3. 編集委員会は、編集委員から2名の査読担当者を決定し、各担当者は次の4段階の評価に講評を付して編集委員会に提出します。
 1. そのままで掲載可（採用）
 2. 修正を加えた上で掲載可（条件付採用）
 3. 修正を加えた上で再査読（再査読）
 4. 掲載不可（不採用）
4. 編集委員会は、査読担当者の評価をもとに、上記4段階の評価と講評を確定し、投稿者へ通知した上で、その後、以下のようなプロセスを踏むことになります。
 - 1の場合：採用を通知します。
 - 2の場合：修正意見を示し、定められた期限までの再提出を促します。修正された原稿について、その内容を確認します。
 - 3の場合：修正意見を示し、定められた期限までの再提出を促します。修正された原稿について、再査読を行います。
 4. 今後の参考になると思われる意見を付した上で、不採用を通知します。
5. 編集委員会による評価が2および3の場合、それ以降の審査（確認・再査読）は1回までとします。

11月上旬締め切りで提出の場合、審査結果の通知は1月下旬、再提出の締め切りは2月下旬、確認および再査読の結果の通知は3月上旬、最終提出の締め切りは3月下旬となります。

5月上旬締め切りで提出の場合、審査結果の通知は7月下旬、再提出の締め切りは8月下旬、確認および再査読の結果の通知は9月上旬、最終提出の締め切りは9月下旬となります。

なお、慎重な査読を行うため、上記スケジュールには遅れが生じる場合があります。

6. 審査の結果、採用が決定したものの、掲載までに期間がある場合は、掲載証明書を発行します。

以上